

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	南あわじ市立 西淡中学校 教諭 浜浦 晃安	研究グループ名 ( 三原金曜会 )	採択番号
-------------	--------------------------	----------------------	------

研究テーマ分類番号 ( 16 )

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ
「青少年のための科学の祭典」を通して小中学校理科担当教員としての資質を高める
(2)研究経過及び具体的な取組
三原金曜会 発会式 兼 「青少年のための科学の祭典」担当実験会 ・実施日：平成25年6月28日(金) ・実施場所及び人数：組合立広田中学校 及び 4人(講師含む) ・成果と課題：ベンハムのコマの製作の検証ができた。 広田中学校を会場に、柳学園中学高等学校の理科教員の先生をお迎えし、夏の『科学の祭典』に向け、担当ブースの実験を行う。 昨年度より、担当ブースの実験内容が変更となった。長きにわたって担当していた『スライムづくり』から、講師先生のご助言で『回すと色のつくコマ』に変更となった。 昨年度、ホットボンドを用いて、ビー玉の取り付けると方法を採択したが、ブースを訪れる子ども自身で作業できるように「瞬間接着剤」を用いての取り付けを試行錯誤をしてみた。しかし、強度の問題もあるが、ホットボンドで取り付けられた痕が、手回しする際の引っかかりとなることに優位性を確認し、今年もホットボンドで製作することとなった。  「青少年のための科学の祭典ひょうご大会」参加 ・実施日：平成25年8月24日(土)・25日(日) ・実施場所及び人数：三原ショッピングプラザパルティ 及び 4人(講師含む) ・成果と課題：来場した子どもたちへ、科学(理科)に対する興味を高めることができた。 8月24日(土)・25日(日)に三原ショッピングプラザパルティで開催された「青少年のための科学の祭典ひょうご大会」(淡路会場)に参加。 淡路地区3市を巡回するように毎年の開催地・会場を選定している。今年は我々が「三原金曜会」の地元開催であった。お盆明け翌週の週末開催ではあったが、市外や島外から帰省している親子の来場もあり、盛況であった。 講師先生より、両日とも、会場でご指導をいただき、安全でたのしい実験ブースを開くことができた。また、子どもからの質問に解答しかねていたグループ員に、その場で適切な助言をいただいた。即答は難しかったものの次回の定例会の議題とすることで持ち越しとなった。最終の反省会の時まで各自、調査しておきたい。 子どもたちの中には、毎年の『科学の祭典』を楽しみに参加している子もいる。3市の会場を追っかけて、毎年、来場してくれる子もいる。科学、とりわけ「実験」や「ものづくり」が持っている、子どもの関心を引き出す力の実際を見た気がした。